

くめじま

議会だより

久米島町議会

久米島町
議会中継



2026.9.1
No. 97

遠足日和



久米島町の人口・世帯数 (2026年6月末現在)

男	3,663人	女	3,193人
計	6,856人	世帯	3,905世帯

6月定例会

6月定例会・臨時会で決まったこと…P2～3
町政を問う 一般質問 ……P4～15
委員会・議員活動レポート ……P16～17
議会のうごき・編集後記 ……P18

定例会・臨時会 議決結果賛否一覧表

令和8年第4回久米島町議会臨時会（令和8年5月15日）

番号	議案	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	議決結果
		氏名	棚原哲也	富永肇	喜久里猛	喜久里強	真栄平建正	幸地猛	保久村登	盛本實	吉永将志	新垣幸子	宇江原総清	赤嶺秀徳	田端努	玉城安雄	
承認第2号	専決処分(久米島町税条例の一部を改正する条例)の承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
承認第3号	専決処分(久米島町国民健康保険条例の一部を改正する条例)の承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
同意第1号	副町長の選任		○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	○	議	原案否決
同意第2号	久米島町監査委員の選任		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
同意第3号	久米島町固定資産評価員の選任		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決

令和8年第5回久米島町議会臨時会（令和8年5月28日）

同意第4号	副町長の選任		○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	議	原案可決
-------	--------	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------

令和8年第6回久米島町議会定例会（令和8年6月12日～17日）

議案第29号	令和8年度久米島町一般会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	議	原案可決
議案第30号	令和8年度久米島町水道事業会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	議	原案可決
議案第31号	久米島町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	議	原案可決
議案第32号	沖縄県域GIGAスクール第2期学習者用端末等物品購入契約		○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	議	原案可決
同意第5号	久米島町監査委員の選任		○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	議	原案可決
同意第6号	久米島町固定資産評価審査委員の選任		○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	議	原案可決
同意第7号	久米島町教育委員会委員の任命		○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	議	原案可決
選挙第1号	久米島町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙		○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	議	原案可決

令和8年第7回久米島町議会臨時会（令和8年7月24日）

議案第33号	令和8年度 久米島町一般会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	議	原案可決
議案第34号	土地改良事業の計画の変更		○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	議	原案可決
議案第35号	久米島町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	議	原案可決
議案第36号	久米島町消防本部消防隊員用防火装備更新等物品購入契約		○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	議	原案可決
議案第37号	久米島野球場セーフティフェンス改修工事請負契約		○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	議	原案可決
議案第38号	議決内容の一部変更(定住促進住宅整備工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	議	原案可決

※ 議案審議結果 賛成○ 反対× 退席・欠席— 議長は採決に加わらない

定例会・臨時会で決まったこと

6月定例会

令和8年6月（第6回）定例会は、6月12日から17日の6日間の日程で行われ、議案4件、報告2件、同意3件、選挙1件、決議1件を審議した。議員12人が登壇し一般質問が行われた。

令和8年度補正予算

- 一般会計補正予算（第1号）
89億4,819万6千円（8,962万1千円の増）
- 水道事業会計補正予算（第1号）
資本的支出 2億8,682万1千円（10万円の増）

条例制定・条例改正

- 久米島町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例

一般審議

- 沖縄県域 GIGA スクール第2期学習者用端末等物品購入契約

報告

- 令和7年度久米島町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告
- 令和7年度久米島町下水道事業会計繰越明許費繰越計算書の報告

同意

- 久米島町監査委員の選任
高嶺 悟 氏
- 久米島町固定資産評価審査委員の選任
吉永 安克 氏
- 久米島町教育委員会委員の任命
大城 秀文 氏

選挙

- 久米島町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙委員
山城 保雄 氏、仲地 泰 氏
津波 実 氏、新垣 希 氏
- 補充員
山元 朝弥 氏、平良 朝英 氏
新城 教明 氏、比嘉 あや子 氏

議員提出

- 県産品・地産品の優先使用に関する決議

第4回臨時会

会期：令和8年
5月15日

承認

- 専決処分（久米島町税条例の一部を改正する条例）の承認
- 専決処分（久米島町国民健康保険条例の一部を改正する条例）の承認

報告

- 清水第2地区2号沈砂池改定契約に伴う専決処分
- 清水第2地区3号沈砂池改定契約に伴う専決処分

同意

- 副町長の選任
中村 幸雄 氏
反対：真栄平建正、幸地猛、保久村登、盛本實、吉永将志、宇江原総清、赤嶺秀徳
- 久米島町固定資産評価員の選任
山里 昌樹 氏

第5回臨時会

会期：令和8年
5月28日

同意

- 副町長の選任
中村 幸雄 氏
反対：真栄平建正、幸地猛、保久村登、吉永将志、宇江原総清、赤嶺秀徳

第7回臨時会

会期：令和8年
7月24日

令和8年度補正予算

- 一般会計補正予算（第2号）
89億8,818万7千円（3,999万1千円の増）

条例制定・条例改正

- 久米島町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例

一般審議

- 土地改良事業の計画の変更
- 久米島町消防本部消防隊員用防火装備更新等物品購入契約
- 久米島野球場セーフティフェンス改修工事請負契約
- 議決内容の一部変更（定住促進住宅整備工事）



たばた つとむ
田端 努 議員

問 久米島斎場の施設を避難所として活用を

答 一時的な避難所として指定できるよう調整する

問 斎場に防災倉庫の新設を。
答 防災倉庫の整備の財源確保に努め事業推進できるよう関係部署と連携していく。
問 防災倉庫を新設する場合の費用は。
答 1千万円前後と見込んでいたが、物価高騰・資材高騰の影響により1.5倍以上の価格見込み。
問 久米島防災士の会「島抱護の会」が設立された。現在の防災士の人数は。
答 消防本部8名。消防団関連3名。民間4名の15名と把握している。
問 防災士資格取得者を増やすために助成金を。
答 決定ではないが、助成金を交付する形で地域の重要な役割を担っていただける方に資格取得していただきたい。
問 町長の今後の防災の見解は。
答 防災士の地域での重要性、必要性は大事。島を挙げて防災士を多く確保したい。どこまで支援できるか検討する。

問 火葬用電動式運搬機に不具合が出た時の対応は
答 手動式運搬機を代用して使用する
問 電動式運搬機の対応年数は。
答 メーカーでは基準を設けていない
問 手動式運搬機は非常に重く一人では動かせない、対応を。
答 代用できる物があるか検討が必要、今後進めていきたい。
問 町民から要望のあるペットの火葬は対応できないか。
答 本町にはペット専用火葬施設はなく相談があれば一般廃棄物として受け入れる。民間のペット専用火葬施設の紹介も行っていく。
問 ペットが死亡し自分で埋葬した場合の罰則は。
答 自己所有地以外の公共の場所に放棄、投棄した場合、5年以下の拘禁刑または1千万円以下の罰金となる。
問 島民が民間施設に頼る場合の考えは。

答 本町からペット葬業者の方に10頭未満の利用がある。情報等紹介しながら協力していきたい。
問 観光拠点視察があり要望書が提出されている。対応は
答 観光協会から観光施設の早期の整備要請がある。観光立町宣言もしており、今、庁内で調整している
問 旧久米島中学校体育館等の既存施設の活用計画は。
答 パークゴルフ場含め事業パートナーと基本協定を締結。6月に基本構想の補正予算が可決しており今後具体的な中身を詰めていく。
問 雨天時は観光が出来る場所が少ない。観光客や町民が雨の日でも学んだり遊んだり出来る体験型の施設創設を。
答 基本構想の中で雨天時の町民と観光客が交流できるスペースを検討する。



旧久米島中学校体育館

問 伊豆諸島の離島に2レーンしかないボウリング場があり、島民・観光客の憩いの場になっている。行政はJAおきなわ所有のイーファ地区の土地を取得する予定の様だが、基本的な構想は。
答 用地取得の協議を進め、津波避難タワーの整備と観光エリアの観光拠点・交通アクセスの拠点など産業の振興につながるよう検討したい。
問 水産資源を活かした展示や釣り堀等の創設は出来ないか。
答 官民連携事業において、民間事業者の水産資源を活かした体験・周遊プログラムの導入を働きかける。

一般質問の記事では、質問と答弁の内容を各議員自身が要約して掲載しています。一般質問の全文は久米島町議会ホームページ内「会議録」よりご確認ください。
※ここでは年号（令和）を一部省略しております。



もりもと みのる
盛本 實 議員

問 2期目の町政運営への抱負を

答 町民との一体化による町政運営を図る

問 今回の選挙において、多くの皆様からの支持を頂いた一方で、約半数近くの有権者の皆様は対立候補を支持した結果でもあった。この事をどのように捉え今後の町政運営に生かしていくのか伺う。

答 相手候補にも1,700余りの票が投じられた。その一票一票に込められた思いをしつかりと受け止め、すべての町民のためのまちづくりに誠心誠意取り組む。

問 副町長選任は、否決、可決という2つの結果が出た。これは議会、町民の意思が反映されていたと思う。その事を踏まえて、今後、議会、町民とどの様に信頼関係を構築し町政運営にあたるのか伺う。

答 議員、町民にはそれぞれに様々な意見がありあの様な結果になったと思う。今後は議員そして町民の皆様方として、互に意見を交換しながら2期目の町政運営に取り組む。

問 2期目の就任にあたり、1期目との違いをどのように考えているのか伺う。

答 1期目の就任後、コロナ過

から始まって町民の生命、財産、そして暮らしを最重点に取り組んできた。しかしながら、未達成の政策課題も多くあり、再度検証しながら町民福祉に取り組む。

問 人口減少対策は「第3次久米島町総合計画」施策で取り組む

問 両候補とも今回の選挙での最大の争点となったのは人口減少対策であった。本町における人口減少は地域経済、教育、医療、福祉、地域コミュニティの維持などあらゆる分野に大きな影響を及ぼす重要課題である。町長は今後4年間どのような成果目標を掲げ、その目標達成に向けて、どのような政策を重点的に取り組んで行く考えなのか伺う。

答 「第3次久米島町総合計画」で産業を基軸とした将来人口フレームを掲げその目標として産業毎の「就業者数」「総生産額」を設定し、産業の振興

を重点施策と位置付け人口減少に効果が発現できるよう取り組む。

問 人口減少は、地方自治体から国家レベルまで広く影響する課題であり、人が減るという事は単純に人が減るという問題だけではなく、社会、経済、地域を持続するために非常に重要な課題である。町長はこの人口減少問題は「久米島町の一丁目一番地」と強く訴えているが、今後どのような政策でこの課題を解決しようとしているのか伺う。

答 人口減少問題は社会動態、自然動態があり、結婚、出産から子育て、教育、医療、福祉、仕事、老後までそれぞれの課題があり、その一つを解決したから、人口減少に歯止めがかかるというものではなく、これを全体的に解決する必要がある、課題を再確認しながらあらゆる施策を講じる。

LIVE ◆久米島町議会中継始めました◆

議会中継をパソコンやタブレット、スマートフォンなどでご覧いただけるようになりました。(R5.6月定例会より開始)

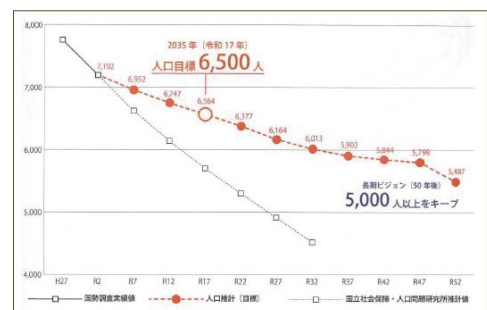
議会を身近に感じてもらうために、「本会議」の様子を生中継・録画配信しています。議会傍聴にお越しになれない方も、インターネットが利用できる環境であれば自宅や外出先でも視聴できます。

久米島町 議会中継



久米島町ホームページの久米島町議会からお入りください。左記バナーをクリックしていただくとご覧になれます。(こちらのQRコードからも可能です)

※録画配信は生中継後、おおそ1週間後(土日祝日を除く)からご覧いただけます。【お問合せ】議会事務局 TEL:985-7128



久米島らしく暮らせる社会へ人口ビジョン
(第3次久米島町総合計画より)



ほくむらのぼる
保久村 登 議員

問 町長は、高速船事業者に「赤字補填を求めない」旨の誓約書を提出させたか

答 受け取ったのは間違いない

問 町長は、高速船事業者に対し、令和6年5月2日の国、県等の意見交換会の場で、赤字が生じても町には一切の補填を求めない旨の誓約書の提出を求めたか。

答 計画当初から高速船事業者は赤字補填の補助金等が必要ないと説明していたので、意見交換会の場で、町長から、総合事務局に対し、町民等への説明の担保となるものがあればと発言したことはある。それを受けて事業者の代表が文書を提出したので、受理した。

問 事業者が補助金を申請する権利は、その時点の社会状況や法令に基づいて判断される公法上の権利であって、あらかじめ放棄させることは許されないのでは。

答 赤字補填を放棄させるという考えは毛頭ない。この文書は、相手方が自分たちの本意度を見せるために会社独自で出しているものだ。

問 その文書が、久米島町長あての、将来赤字になっても補

助の申請はしないことを誓約するものであることは。

答 間違いはない。しかし、中身の指示はしていない。事業者が作成したものを受け取っただけだ。また、前記の発言も、総合事務局に対して、担保と

問 将来、運航会社が赤字になり、撤退又はサービス低下を招いた場合の責任は。

答 事業者自ら行政からの赤字補填は受けないと明言しており、赤字等による撤退の責任は事業者が負うものと考える。

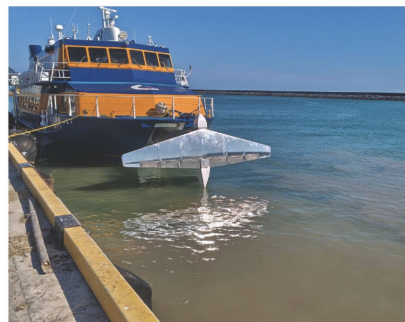
問 国が島民の足として運航を認可した事業に対して、全て自己責任だと突き放すのは、地方自治法が定める住民の福祉の増進を図るべき町長の公的責任を放棄したことにならないか。

答 事業者の誓約書を受理したことが、将来にわたる公的支援を否定するものではない。

問 高速船の航路における地元漁業者等の知見を踏まえた安

全性確保のための検討、県に対する港内の浚渫作業の要請等を行なう意向はあるか。

答 浚渫する方向で要請していきたい。



高速船接岸時、船底下の泥で濁っている海面の状況



兼城港に入港する高速船

問 町から、久老連に対して、外部監事を置くよう指示

答 指導、要請したところがあるか

答 ない。しかし、補助金は公金なのでしっかりと管理体制を構築する必要があるが、老人クラブ会員が監査をするとチェック体制が甘くなるのではないかという観点から、お願いの形で伝えている

問 南老連傘下の市町村老連で外部監事を設置している老連があるか。

答 ない。

問 久老連の事務局事務の支援をどう考えているか。対応に変化があれば、その理由は。

答 これまで社協と連携し必要に応じて助言、支援を行ってきたが、昨今の社会情勢、組織体制、行政における事務負担の適正化の観点から、可能な範囲での対応を継続している。



あかみね ひでのり
赤嶺 秀徳 議員

問 比屋定小学校の休校は

答 教育環境の観点からの休校措置である

問 何故、休校か。

答 子ども数が極端に減少した環境では、集団学習や多様な対人関係の構築、行事の実施が難しくなるなどの課題があり、教育環境の観点から休校措置とした。

問 スクールバスが運行されているが、先に大岳小学校に転校した児童を乗せないという事実があった。その対策は。

答 比屋定地区の皆さんから相談を受けて、教育長、担当課長には、先に大岳小学校に通学している児童もそれに乗せられないか、何か方法がないかと意見交換、議論をしている。

問 休校している校舎の電気工事が計画されている。事実か、その必要性は。

答 蛍光灯の製造が終了となり学校の各施設でLED化への更新を行っている。比屋定小学校は休校中であるが、施設の維持管理面から更新を実施。

要 望 統廃合は地域のニーズに応えながら理解が得られるようにやってもらいたい。

問

答

人口減少を食い止めるため、一期目四年間に講じた対策は生まれ、育つ、学ぶ、働く、暮らす、老いる、次世代、島

を訪れる・島に帰るという8つのステージごとに施策を展開して取り組んで来た

問 人口減少を食い止めるため、2期目の具体的な施策は。

答 産業を基軸とした施策に取り組む。

問 人口が減少しても職員を減じない理由は。

答 行政ニーズが多様化し、業務量が増加傾向にあり、職員を減らすことが難しい状況であり、行政課題、住民サービスへの影響を勘案しながら適正な定員管理につとめる。

問

答

町管理の構造物、バーデハウスの現在の状況は7年6月事業パートナーと連携協定を締結し、施設の再生方針等を整理するため基礎調査を終えた

問 再開のため今後、講じていく具体的な対策は。

答 再開するための大前提である財源の確保に取り組み、基本設計、実施設計、建設工事など、

段階的に再開に向けて取り組む。

問 風の帰る森の現在の状況は。

答 4年度末公募による管理者が決まらず、対話を重ねてきたが支援的な提案が多く、主体的事業者の選定は困難である現実に直面した。昨年度から町直営での臨時開館や持ち込み企画などを試行して糸口を探っている。

問 今後の対策は。

答 一括の指定管理ありきではなく、リスクを抑え段階的に民間の力を呼び込むスモールステップ型の展開を検討する。

問

答

漁港整備、儀間漁港内の浚渫は漁業活動に支障があれば調査を行い、次期や範囲を検討する

問 給油施設周辺非舗装地の舗装は。

答 給油施設用地であり、給油施設が整備されたことで目的は達成された。利用状況や維持管理の状況を踏まえて舗装の必要性について検討する。

問 漁港斜路の亀裂の補修は。

答 亀裂を確認し、補修が必要であると認識している。補助



左：給油施設 右：未使用焼却炉（儀間漁港）

事業を活用し整備に努める。
問 未使用焼却炉の撤去は。
答 漁港内の環境美化や安全性の確保の観点から撤去を検討する。
問 放置漁船等の廃船処理は。
答 基本的には、所有者が行うものであるが、所有者不明や所有者死亡などが多く、引き続き所有者や相続人などの確認を行い、漁協・県とも連携して処理に取り組む。



きくざと つよし
喜久里 強 議員

問 道路行政及び標識等の整備は

答 それぞれ管理主体が異なる

問 町内の道路標識等の点検状況は。

答 道路パトロールや維持管理業務等に対応している。

問 老朽化や視認性低下が見受けられ、安全面への影響が懸念される。特に高齢者や観光客、夜間通行時の安全確保のため、標識等の適切な維持管理と視認性向上が必要である。また、通学路や人通りの少ない箇所においては、横断歩道のカラー化や防犯カメラ設置など、安全・防犯対策の強化が求められていることから町の現状認識と今後の整備方針を伺う。

答 老朽化・破損した標識は県管理の標識は県に要望し、町管理の標識は修繕や取替え対応を行っている。

問 標識の反射材活用など視認性向上への取組みは。

答 県管理の標識は県へ要望し、町管理の標識は取替えのタイミングで導入する。

問 横断歩道のカラー化及び防犯カメラの設置を。

答 横断歩道は公安委員会の所管となっている。

問 危険箇所における横断歩道カラー化の現状と今後の整備計画は。

答 横断歩道カラー化も視認性や安全性向上に有効だと考えるので、公安委員会や警察及び道路管理者へ要望していく。

問 防犯カメラの設置、公共施設や通学路への優先的整備に関する本町の考えは。

答 近年、全国的に子供の安全性や犯罪抑止、事故発生時の状況確認などを目的として導入が進められており、県内自治体の動向を踏まえ通学路や公園、観光施設等を含めた施



老朽化と剥離が目立つ標識(山城)

設は関係部署と連携し条件整備を進める。

問 上田森戦没者刻銘碑は建立から長年が経過し接着面の破損や文字の剥離など老朽化がみられる、そのため適切な修復及び保存対応の予定は

答 戦没者慰霊と平和学習を次世代へと継承する重要拠点として歴史的意義のある施設と認識しており計画的な修復・補修に向け早急に検討する

問 同一人物と思われる重複刻銘の事実確認及び修正を行う考えは。

答 重複刻銘は過去の資料及び刻銘名簿と照合・確認しその結果、誤りや重複が判明した場合、対応を図る必要がある

問 上田森戦没者刻銘碑は過去に資料及び刻銘名簿と照合・確認しその結果、誤りや重複が判明した場合、対応を図る必要がある

と考える。

問 刻銘碑に名前が記載されていない方の調査及び追加刻銘を検討する考えはあるか。

答 戦没者名簿等の関連資料を精査し、事実確認を行い、調査の進め方や追加刻銘の基準を関係者と連携し町としてどのような手続きが最適か検討する。

要望 戦争を経験した世代が少なくなる中で、刻銘碑は平和を語り継ぐ大切な資料である。ご遺族の思いに寄り添いながら、正確な記録保存と適切な維持管理をお願いする。



上田森戦没者刻銘碑



こうち たけし
幸地 猛 議員

問 海洋深層水利活用の推進、商船三井との包括協定の年数は

答 町の定める要綱に基づき定めている

問 温度差発電は取水システムの大規模化に向けて研究開発が必要だという。その準備を行うのは、商船三井が町か。

答 町の全体計画を基に、取水システムの大規模化に向けた研究開発の実証は商船三井が主導する。町は用地の確保や地元調整などを連携して行うことでの取り組みを後押しする。

問 温度差発電が完成しないと全てなり立たないと言っているが、大規模化を目指すしながら出来ることから取り組んでいくと言っているのか。

答 沖縄県海洋深層水研究所の分水の稼働率が約5割程度であるという。その要因は陸上配管に要因しているのではないかと推測している。今後、配管状況を調査、改修し分水稼働を上げること、既存事業の規模拡大や新規事業者の進出を促したい。

問 冷熱利用農業は町の冷熱ハウスを利用して実証の準備を進めていると言っているが、県の施設も未使用の状態である。県と協議して利用する考えはないか。

答 町の農業ハウスは、昨年度より民間事業者が環境配慮型6次産業化モデル事業として水耕栽培等の実証を実施している。又、県農業ハウスは、今年度より甘藷およびパイナップルの種苗増殖場所とし

て利用している。

問 海洋深層水を利活用した「久米島モデル」はこの1～2年で進み、実現すれば新たな事業が人つてくるという。どういった事業の進展が想定されているか。

答 食料生産を中心として産業振興分野ではこれまでの実績を活かしながら、新規規模の拡大や新規事業者の参入促進に取り組んでいる。この1～2年では、新たに水産養殖事業者が参入に向けた準備を進めている。

問 「人材をもって資源と成す」の理念で久米島高校と連携しながら特色を生かしたコース設置に取り組みたいということだが。

答 久米島高校と連携による特色あるコースの設置は、本町の資源である海洋深層水の利活用を学ぶことができるコースの設置に向け、高校及び沖縄県教育委員会と意見交換を行っている。

問 観光受け入れ環境の整備を図る必要があると考えるが受け入れ体制の強化を図る

問 高速船就航により、久米島の観光客は現在の9万人から15万人まで伸びると見込んでいる。第3次総合計画の久米

島の観光入域客数の指標を15万人と掲げている。町としても久米島オーシャンジェット(社)と積極的に連携して、観光受け入れ環境の整備を図る必要があると考えるが。

答 高速船が就航したことにより、選択肢が増え、町民や来島者の利便性が向上すると認識している。今後は高速船事業者のみならず、航空会社や旅行業者を始とする、関係機関と連携し、新しい旅行商品の開発等を行い、誘客効果の向上を図る。また、高速船就航を視野に入れ、更なる第2次交通の強化、拡充に取り組むことで受け入れ体制の強化を図っていく。

問 夏場の飲料水確保は少雨傾向が続いており、水道水の確保は重要な課題となっている

問 今年の夏場の貯水率が心配の声がある。高速船就航により観光客が大幅に増えることがみこまれる。観光客が安心して滞在出来る環境を整えるには、夏場の飲料水確保が急務だと思うが。

答 儀間ダム貯水率低下による渇水への対応については、関係機関と連携を行い、山城池からの一時的な取水による対応と比嘉池か

らの取水により水の確保を行う。

問 2013年に儀間ダムの貯水率が10%となり危機的な状況に陥り、白瀬ダムから儀間ダムまで配管して対応したところがある。島の生活用水は町一円として捉え、ダムの一円化をする考えはないか伺う。

答 久米島の池、ダムをパイプラインで引けないか。カンジンダムからポンプアップして、自然流下でも可能ではないかということで意見交換している。久米島を訪れる観光客等に迷惑をかけないような取り組みをしていきたい

問 認定こども園の具体的な取り組みは認定こども園の実現に向け取り組み

問 所信表明で認定こども園の実現には、就学前の教育・保育の充実と義務教育への切れ目のない支援に取り組んでいくというが、その具体的な取り組みは。

答 久米島町立学校等適正規模・適正配置に関する基本方針(案)も「認定こども園」への移行を指すとされた。本町の修学前教育・保育方針を取りまとめ、本町により適した認定こども園の実現に向けて取り組む。



まえひら けんしょう 議員 真栄平 建正

問 小中学校の適正規模、適正配置アンケート結果は地域、保護者の意見を代表しているものか

答 統計上、意見を代表するものとはいえない。参考資料としての扱いである

問 総合計画で

1. 学校施設は教育施設として維持管理を進めるとともに、地域住民の文化活動拠点とし、体育館や運動場は、地域行事やレクリエーション、防災訓練等に活用。

2. 適正規模・配置を検討する小学校・中学校は久米島らしい教育が実現できる機能配置と環境整備を検討と位置付けられている。現学校の移転後の利用計画であり、教育はほんのり一帯に集積は学校も含むと解釈できるのでは。

答 今後、学校を中心拠点に置くか、各地域に置いた方が良いか今から議論する。

問 仲里校区の児童施設が廃止され、中心地域（ほんのり）に統合されるとさらに子育てしにくい町に向かっているのでは。

答 今回のアンケートは意向調査であった。1校、2校、3校、現状のままだが良いか、再度アンケートで町民の意見を聞いて判断したい。



統合されるの？

問

堆肥生産増、堆肥利用による化学肥料の低減、農家所得の向上を
答 堆肥作りは水分量が重要、原料置場に屋根設置を取り組んでいる

問 過去5年間の生産量、事業委託の評価は。

答 R3～R7までの5年間は、それぞれ763t、771t、385t、415t、374t（後半の3年間は事業者へ委託）である。利用離

れ、また設備の老朽化に課題があったと認識している。

問 名護堆肥センターは50日のサイクルで生産している。R2年に常任委員会で視察し、生産向上を町に提案してきたが生産能力が全く上がっていない。役場の担当職員は農業経験者が少ない、農業全般にアドバイスできる人材を外部から招聘しては。

答 原料の牛糞水分量が重要、原料置場の屋根設置に取り組んでいる。アドバイザーはJAおきなわの名護堆肥センターで指導していた事業所を調査していきたい。

問

先導的官民連携事業のバーデハウス、パークゴルフ場の情報の共有を関係機関にも共有を図りながら進める
答

問 最優秀提案者の概要書を公表することとなっているが公表

が遅れた理由は。

答 事業計画の精査、財源確保等詳細な協議を重ねている段階であるため。

問 公表するのは応募時の概要書であるべき。概要書が変わったのであれば特に審査員はチェックする必要があるのでは。変わったものは経緯を示して公表すべき。PFI法第7条に基づく特定事業選定を前提とする提案は認めないとしているのは町が財政負担を前提とした事業は認めない意思表示で今後も堅持しなければならぬのでは。

答 既存の町所有の建物のリノベーションは財政負担の可能性はあるが負担が無いよう協議している。

問 事業譲渡、経営体の変更は企業では通常あり得ること、どう対処するのか。今後想定される問題は文書、契約書で残すべきでは。

答 事業譲渡、後々これが発生することは確かである。両方が納得いくような形で取り組む。



うえはら そうせい
宇江原 総清 議員

問 ミサイル配備を容認するか

答 ミサイル配備は容認しない

問 アメリカがくしゃみをする
と、久米島が風邪をひく、グ
ローバルな世界だ。米中会談
でトランプは「台湾は遠く戦
争に行けない」又、日本に対
し「中国を刺激するな」と言っ
た。以前に米国防長官のヘグ
セスも「台湾有事は日本が最
前線に」と言った。高市首相
が「台湾有事は存立危機事態」
との国会答弁は中国に対する
宣戦布告だ。グローバルの中
で鳥島射爆撃場伺う。

(1) 日中戦争になった場合の住
民保護。

(2) 嘉手納基地弾薬庫の劣化ウ
ラン弾の処理は。

(3) 本町のがんによる死者が多
い。その疫学調査は。

答 (1)は国民保護計画に基づき
対応。

(2)の劣化ウラン弾は把握して
いない。

(3)の疫学調査は、放射性物質
の影響はないと考える。

問 住民保護は戦前の疎開対策
だ。疎開計画であれば久米島
にミサイル配備をしない事。

例えば、日中戦争になっても住民
のほとんどが救われる。しか
し、私が呼んでいる比屋定から
のミサイルロードが建設され
ている。町長は久米島へのミ
サイル配備を容認するのか。

答 ミサイル配備は、町民の生
命、財産を守る立場から容認
しない。

問 (3)の疫学調査は本年5月22
日の沖縄タイムスで医者の本
田徹氏が東日本震災の福島小
児甲状腺がんで既に400人
余りの子供や若者が発症して
いるのに国や東電は因果関係
を認めてない。論壇中で岡山
大学の津田教授は、福島県の一
環である疫学調査では子供
たちの甲状腺は地域にもよる
が20倍から60倍の高値になっ
ていると指摘。町長も国と同
じ隠蔽体質ではないか。

答 今後も注視しながら検討し
ていきたい。

問 本町の集落毎のがん死者
数と人口との比率とその数字
は。

答 個人情報の特定に関わるこ

となので慎重に対応する。
問 名前を載せなさいではなく
数字を。

問 町長は社長として
の責任が
答 活用に取り組む

問 本町はバーデハウス、風
森の衰退や商業等加速的に減
少。これに伴っての人口減少。
その原因と対策は。

答 バーデハウス及び風森施設
は老朽化や指定管理の見直し
等で現在休館。利用検証を行
い取り組む。

問 バーデハウスは老朽化との
事だが建設は何年か。

答 開館から22年経過。機械室
は雨水等で老朽化。

問 機械室は14年頃置石のコン
クリート護岸による塩害。県
も因果関係を認めた。町長は
バーデハウスの社長の責任も
ある。武士の商法だ。又、風
森の衰退は寄附された方が
3億円、町の予算が3億円、



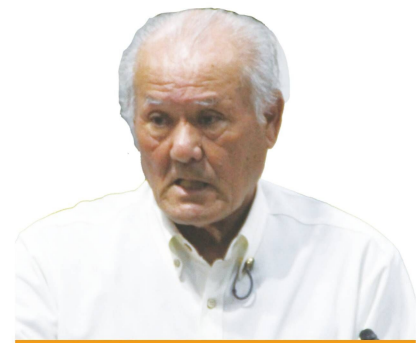
寄附3億、町予算3億、計6億円で建設。現在休館中

計6億円で建設した。現在の
活用は。

答 十分な活用ではない。

問 副町長が対策室長の時、私
は寄附された方が風の谷のナ
ウシカをイメージしたのでは
と、言った。そうであれば木
造建築で周囲にガジュマルや
ウラジロガシの大きな木があるの
に何故コンクリートの家屋に
したのか。

答 活用に取り組んでいき
たい。



きくざと たけし
喜久里 猛 議員

問 農林水産業の活性化、農地の流動化は

答 農地集約・流動化に取り組む

問 農地流動化の可能性は。

答 農地の有効活用と担い手への集積、流動化をさらに推進していく可能性、またその必要性は非常に高いと認識している。農業委員会や関係機関と緊密に連携を図り、意欲ある担い手への農地集約・流動化に取り組む。

問 農家所得はどの位置で何万円か。

答 産業の概況より出荷額合計から農家戸数で除した令和6年度金額は約230万円となっており、沖縄県が公表している「1人当たり市町村民所得」（令和4年度）では県内38位となっている。

問 医療・福祉、生活保護者の受給条件の改善が必要ではないか

答 きめ細やかな対応と福祉の向上に努めていく

問 生活保護者の受給条件の改善、自家用車の所有、持ち家

の所有等、地域にあった政策が必要だと思うが。

答 生活保護が法定受託事務であることから、本町が独自にその基準や条件を緩和することはできない制度となっている。制度の運用は、地域の状況や個別の事情を考慮する規定もあるので、今後とも関係機関と連携を図り、町の実情に即したきめ細やかな対応と福祉の向上に努めていく。

問 公共事業は

優先順位を設定し計画的に対策を進めていく

問 道路新設よりも改修が先ではないか。

答 効果的かつ効率的な事業執行に努め、限られた財源の中で町民の安全・安心な暮らしを守り、経済の発展に資する道路整備に取り組んでいく。

問 山林保護・河川保護事業が必要では。

答 山林保護は、伐採の全てを規制することは難しいが、関

係部署で連携して保護をしていく必要があると考えている。河川保護は、施設の重要度と老朽化の度合いを総合的に評価し、優先順位を設定し計画的に対策を進めていく。

問 次世代産業の誘致は新たな産業振興や研究開発の展開が期待されている

だが。

問 外国からの視察が多いようだが。

答 近年パラオをはじめとする太平洋島嶼国からの視察が増加しており、視察者の関心は、エネルギー・水・食料の自給自足を目指す「久米島モデル」にある。

問 久米島へのメリットは。

答 「久米島モデル」が海外で展開されることで海洋温度差発電への関心が高まり、技術開発や研究の進展が本町の取り組みにも還元されることを期待している。

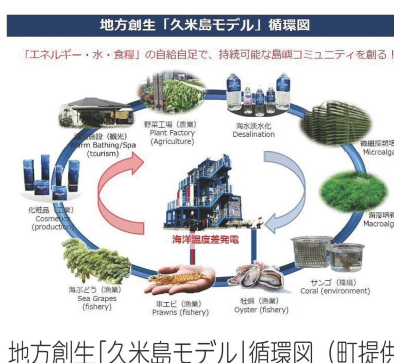
問 企業進出はあるか。またその予定は。

答 久米島モデルへの関心の高

まりを背景に、海外市場を視野に入れたサーモン養殖事業の本格進出が決定しているほか、ウニ養殖事業者から養殖場設置の相談も寄せられている。大学等の研究機関からGX拠点となる国際共同研究施設の立地に関する相談も受けており、新たな産業振興や研究開発の展開が期待されている。



太平洋島嶼国からの視察の様子



地方創生「久米島モデル」循環図（町提供）



あらかき さちこ
新垣 幸子 議員

問 入札参加者第7条のただし書きの1級上下の考え方は

答 建設業協議会との意見も踏まえて慎重な判断が迫られると思う

問 工事規模別の参加制限におけるランクごとの参加可能工事規模(金額)及び登録業者数は。
答 ランク別の請負工事金額は、J・V方式3億円以上、特A及びJ・V方式は1億5千万円以上3億円未満、A級は4千万円以上1億5千万円未満、B級は2千万5百万円以上4千万円未満、C級は1千万円以上2千万5百万円未満、D級は5百万円以上1千万円未満、等級外は5百万円未満となる。登録業者数は、特Aはなく、A級7社、B級3社、C級2社、D級2社となっている。
問 例えば、B級クラスの工事が出た場合、2千万5百万円以上4千万円未満の工事の発注の際、3人以上が必要となるのでB級クラスは3人いるが当日何らかの事情により参加できない場合は成立しないことが考えられるのでA級の7社も交えて入札していると伺った。疑問に思ったのが合計10社になり1社しか落札できないので、おのずとA級クラスのほうが落札する可能性が高いのではないかと、そしてB級クラス以下の仕事量は減っていくばかりではないかと思った。この仕組みは不公平であるような感じを受けたので2つ提案をしたい。1つ目は大きな工事を

舗装、排水、電気、外構などに分けて分離発注する方式。2つ目は、小規模案件は下位ランクを優先する方法です。例えば、B以下限定とか、C・D限定などかどうか。

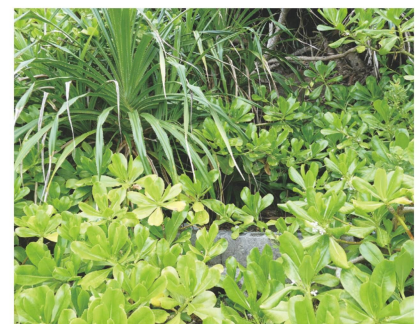
答 国・県の補助事業は、その事業内容、性質によって分離分割が難しい状況にある。

問 「久米島町建設工事等競争入札参加者資格及び指名基準等に関する規程」の入札参加者第7条のただし書きに当該等級を基準とし1級上下の等級該当者となり、これまでのA級ではなくてC級から入れることも考えられると思うが。

答 これまで取組として行ったことはなく制度上可能ということで実施するのか、建設業協議会との意見も踏まえ慎重な判断が迫られると思っている。

問 行政でミーフガーのウガンジュ(御願所)の草刈りができないか
答 拝所の定義があり、拝所として清掃することはできない

問 ウガンジュ(御願所)やウタキ(御意)は神聖なる場所である。できるだけ町民の皆様が



ミーフガーのウガンジュ(御願所)の状況

一緒になって掃除できる体制ができたらと思っている。集落内・集落外清掃の際、草刈りと清掃を行っている地区は。

答 30字の区長に確認したところ、24か所が清掃を行っている。と回答があった。

問 集落から離れた箇所の観光地内にあるウガンジュなどの草刈りと清掃を行政で対応できないか。

答 これまでと同様に、集落のほうで対応していただきたいと考えている。

問 32地区の「しまくとうば辞典」の発刊は可能か
答 久米島町史自然編に動植物の方言名を集落ごとにまとめている

問 波平憲一郎先生の「しまくとうば辞典」は約9千語が収録されている。約10年近くの期間をかけての発刊と思われるので「しまくとうば辞典」発刊は歳月がかかり非常に難しいことである。改めて「しまくとうば」を残す方法としてテーマを決めて「桃太郎」や「浦島太郎」などを各字のしまくとうばに置き換えてみてはどうか、見解を伺う。
答 いいアイデアだと思っているので、検討していきたい。



「しまくとうば辞典 久米島町字儀間の言葉」(波平憲一郎 著)



とみなが はじめ
富永 肇 議員

問 町政、一期目の総合的な評価と二期目の政策への課題は

答 一定の評価があった。人口減少対策が最重要課題

問 外部評価や住民アンケートでは一定の評価があったとあるが、更なる取り組みの強化にどのような施策があるか。

答 産業の活性化、第一次産業のブランド化や付加価値を上げていく。住宅環境の整備、空き家の活用や民間賃貸など連携を取っていく。

問 子ども未来課を設置し1年が経過しているが状況は。

答 子ども家庭センターも併設する形で機構改革を行った。妊産婦から子どもに関わる業務を一本化することで町民からわかりやすい体系ができたとの声がある。関係機関とこれまで以上に連携を取りながら町民サービス向上に向けて子育て世代の支援活動、事業をさらに前進して取り組む。

問 住民アンケートで島への愛着、誇り、島暮らしの幸福度は8割から9割の肯定的な意見があったと。見解は。

答 自然、歴史、文化や人の温かさが非常に高い評価を受けた。また地域行事など取り組

んでいる活動が高い評価の要因になっている。

問 イーフ地区複合型避難ビルの整備は複合型避難タワーが重要と考える

問 イーフ地区に沿った複合型施設とはどのようなものか。

答 イーフ地区の避難ビルの機能と観光拠点となる機能、道の駅、地産地消の機能や交通拠点のバスターミナル的な機能をもたせたエリアとして構想している。

問 官民連携事業パートナー協定は施設を生かした事業化に取り組む

問 事業パートナーと取り組む施設は。

答 バーデハウス、旧久米島中学校、シーサイドパークゴルフ場、泊フィッシャリーナと連携協定を締結している。今年度基本構想を策定し、既存施設の有効活用を図る。



バーデハウス久米島

問 久米島博物館、ホテル館、ウミガメ館の機能強化は。

答 一旦、施設が止まっている所を再度活用するという。博物館やホテル館など継続して運営を行っているが、観光客、町民が楽しんでもらう施設として官民連携を念頭において運営に携わっていきたい。

要望 新しい施設も大事だが、今ある施設をしっかりと活用し財政の負担とならないよう取り組んでいただきたい。

問 地域行政懇談会の開催予定は開催に向け調整する

問 地域行政懇談会は行政の方針や課題について町民と意見交換し、行政運営に反映させ町民と町との協働の町づくりができる。懇談会の見解と今後の開催予定は。

答 令和6年度に開催したが7年度はできなかった。開催に向けて取り組む。

問 町長は継続が大事だと訴えている。この4年間で継続してきたことを形にして頂きたい。強いリーダーシップを発揮し取り組んでいただきたい。

答 一期四年間は、一生懸命、町民福祉の向上や町の発展に取り組んだ。二期目は今までの事業などの再確認をしながら町民福祉の向上、行政サービス、そして町の発展のために一生懸命取り組んでいく。



たなはら てつや
棚原 哲也 議員

問 保安・防犯目的の監視カメラ設置を

答 現時点で具体的な整備計画はない

問 町内の公園、ビーチの入口、児童生徒が活用している通学路等に監視カメラ設置の必要があると思う。町として設置計画はあるか。

答 通学路、公園、観光施設等、まず条件整備を進めていく。

問 公共施設への防犯カメラの設置はないとの答弁がある。公共施設とはどういう場所が想定されるか。

答 不特定多数の方々が出入りする場所、学校施設等が想定される。

問 ふれあい公園、仲里公園、具志川改善センター、イーフ情報プラザ等もその中に入るか。

答 かなりの人数が往来するところに防犯カメラ設置の状況が県内で見受けられる。情報を集め島内の防犯カメラ設置の条件整備を行っていくことになると思う。

問 通学路としてはどういうところが想定されるか。

答 学校ごとに通学路の指定がされ、よく子どもたちが通るところが対象になると思う。

問 個人情報があるからとの答

弁もなされているが個人情報優先し設置しない方向をとるか、児童生徒の安全確保、公園、施設に集まる人たちの安全確保を優先するか、後者を優先し早めに設置したほうがいいと思う。町長の見解を伺う。

答 町民、観光客、子どもたちの安心、安全を担保するため設置が必要と思っている。関係機関含め検討していく。

問 町営バスの路線は運行効率の観点で設定している

問 島尻線の路線で泊、謝名堂地域を除いて謝名堂川沿いの謝名堂5号線を路線に組み入れているのはなぜか。

答 運行効率の観点から県道へ接続する最短ルートとし謝名堂5号線を経路とし泊、謝名堂地域での停車はしていません。

問 謝名堂川沿いを路線とし運行すると、2、3分の違いだと思う。2、3分の違いでここを

通すべきかと思うが答弁を。

答 運行の経費が若干少なくということでのこの経路になっていると考えている。

問 謝名堂5号線の通行量が非常に多いと思う。認識しているか。

答 一般の車両に加え子どもたちが野球の練習等で通るところもよく見かける。交通量が多いのは認識している。

問 幅員が非常に狭い謝名堂川沿いの謝名堂5号線は普通車両が交互に行き交うのも非常に厳しい状況にある。泊、謝名堂を通る路線に変更できないか。

答 今後検討して早急に対応していきたい。

問 重ね重ねになるが、謝名堂5号線は幅員が狭く車の行き交いが厳しい状況。早めに改善していただきたい。

答 島尻線のルートも、バス停も泊、謝名堂で出来るのか毎年一回ある公共交通会議で提案し、議論させたい。

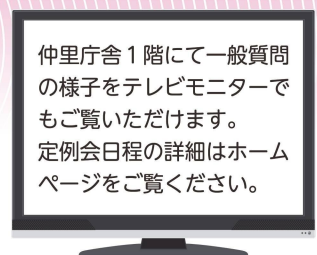
9月定例会、議会傍聴へ行こう!!

定例会は

9月8日(火) ~ 10月2日(金)

開会予定

仲里庁舎1階にて一般質問の様子をテレビモニターでもご覧いただけます。定例会日程の詳細はホームページをご覧ください。



活動レポート

活動の様子を
見てみよう！



A 議会では定例会や臨時会のほかにも様々な委員会活動や議員活動を行っているよ！

南部地区市町村議会議長会管内行政視察（5月20日～21日）

南部地区市町村議会議長会管内離島視察研修が久米島で行われました。南部地区議長12名と事務局職員2名の計14名が久米島に来島し、仲里庁舎で議長会臨時総会、中村幸雄副町長から久米島町概要説明が行われました。

久米島島内では納骨堂、新クリーンセンター、海洋深層水研究所、ロート製菓くめじま FARMO 様、パークゴルフ場、ほんのもりを視察されました。



久米島町概要説明（仲里庁舎）



海洋深層水研究所海洋温度差発電



ロート製菓くめじま FARMO

仲里郵便局の一時閉鎖に関する要請行動（6月22日）

玉城安雄議長、真栄平建正議員両名が日本郵便株式会社沖縄支社を訪問し、3月議会で議員全員一致で決議された、仲里郵便局の一時閉鎖に関する要請書を手交しました。



我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟総会・研修会（7月9日～10日）

9市で構成されている会は我が国の海洋地球科学技術の水準及び加盟市町村の発展をはかるための組織であり海洋政策の推進を目的としている。

日本における「海」の重要性と海洋研究は、まだまだ未知の分野、世界であり、日本の成長戦略の一つに掲げられている。本来、市議団で構成しているが会則を変え町村まで加入が可能となった。本町は海洋深層水施設があり、この会に参加することによって海洋深層水事業も推進すると考える。

副議長 富永肇

参加議員：玉城安雄議長、富永肇副議長
棚原哲也建設経済委員会委員長
盛本實建設経済委員会副委員長



挨拶をする玉城議長



ねえ
教えて!

委員会・議員

Q 議会って
定例会・臨時会以外では何しているの？

琉球大学陸上養殖(ヤイトハタ)視察 (5月11日)

琉球大学では令和3年から閉鎖循環式陸上養殖でヤイトハタ(ミーバイ)の養殖を実施し琉大ミーバイの商標で流通、販売されているとの情報があり、琉球大学及び佐敷中城漁協中城支所、中城村浜漁港での取り組みの視察・研修を琉球大学理学部竹村明洋教授に依頼したところ快く受け入れていただき、5月11日、常任委員会の建設経済委員会で琉球大学キャンパスを訪問。約1時間、大学が取り組む農水一体型陸上養殖システムの実現に向けた産学官連携の講和、取り組んできたヤイトハタの流通、販売等の意見交換を行った。機能的価値、情緒的価値があり、他の産地との競合はないのではとのことで、収益向上につながるとの話であった。又、学内では小型陸上養殖施設での研究、浜漁港では企業が自社開発したプラントを活用し魚の成長及び成熟を促進する研究が行われ、琉球大学・研究共創機構・産学官共創ユニットに参画している。ヤイトハタは過密状態での養殖が可能な魚種で本町でも天然魚の水揚げが年々減少しており、今後有望な産業になりうるのではと感じた大変有意義な視察でした。今後はより高額で販売できる赤ジンミーバイの養殖確立に期待したい。



上：産学官連携取組講和（琉球大学）
下：陸上養殖施設（中城漁港）

離島一町・六村運営協議会宮古島視察 (5月12日～13日)

5月12日早朝7時15分発の便にて那覇より宮古島へ出発。8時10分宮古島空港着、バスにて2015年に開通した3,540メートルの国内最長の無料橋を通過し伊良部、下地両島を視察。環境に配慮して建設された伊良部大橋の側面には10年の間で新たな砂州が出来ているのを見て自然の摂理に反した産物が現れたと感じた。伊良部島では宮古島本島同様、島の南東側の海岸に位置する景勝地の多くが外資系及び県外の投資家による買い占めで土地や建築費高騰等で島民の経済活動に顕著な影響が出ているように聞く。2000年に完成した世界1大きい地下ダムのおかげで農業用水や100万人余に増加した観光客に対応する水不足は解消されたが、新たな問題として広大な農地で使用される農薬が水を通し易い琉球石灰岩層の地下ダムに貯められ、地下水汚染の要因になるのではとの声もあるとの事であった。宮古島では海岸及び海域の保全が十分になされ観光客の心を魅了しているのではと感じた。観光立町を提言している本町の今後の取り組みに期待したい。

建設経済委員会委員長 棚原哲也



左：一括交付金事業説明
（宮古島市役所）
右：地下ダム資料館
（宮古島島内）

■令和 8年 5月 ■■■■■■

- 11日～13日
・離島一町六村運営協議会行政視察
(議長・建設経済委員会)
- 15日・臨時会
・議会運営委員会
・議員全員協議会
- 20日～21日
・南部地区市町村議会議長会
「離島行政視察研修及び臨時総会」(議長)
- 25日～27日
・全国町村議会議長・副議長研修
(議長・副議長)
- 28日・臨時会
・議会運営委員会
・議員全員協議会
- 28日～31日
・楽天球団訪問(議長)
・南部地区市町村議会事務局職員研究会
総会及び研修会(議会事務局)

■令和 8年 6月 ■■■■■■

- 5日・議会運営委員会
8日・議会活性化委員会
9日・議員全員協議会
- 12日～17日
・定例会(開会・一般質問・議案審議・閉会)
・議会広報調査特別委員会
- 18日・鳥島・真泊ハーリー

- 21日・儀間ハーリー
23日・久米島町慰霊祭(全議員)

■令和 8年 7月 ■■■■■■

- 1日・地元産品奨励及び地元企業優先使用要
請(議長)
- 3日・沖縄県町村議会議長会定例役員会(議長)
- 8日～9日
・我が国の海洋研究を推進する市議会議
員連盟総会
(議長・副議長・棚原議員・盛本議員)
- 16日～18日
・全国離島振興市町村議会議長会総会(議長)
- 16日・子ども議会オリエンテーション
(総務文教民生委員)
- 17日・県産品優先使用の要請行動(副議長)
・東京一久米島直行便歓迎セレモニー
(副議長)
- 22日～23日
・建設業協会要請活動(議長)
- 24日・臨時会
・議会運営委員会
・議員全員協議会



鳥島ハーリー

地元産品奨励及び地元企業優先使用、
県産品優先使用の要請を頂きました

久米島商工会様から地元産品奨励及び地元
企業優先使用、県産品奨励月間実行委員会様
から県産品優先使用の要請を頂きました。



子ども議会オリエンテーション

子ども議会開催(11月5日開催予定)に向け、準備をしています。

- 6月17日 久米島西中学校・球美中学校打ち合わせ
7月16日 子ども議会オリエンテーション
10月20日 子ども議会リハーサル(予定)
11月 5日 子ども議会本会議(予定)

子ども議会
オリエンテーション

編集後記

夏休みは子どもたちが大
きく成長する季節です。今
年は、久米島から2人の選
手が沖縄ガールズ(県選抜)
として、滋賀県で8月21日
から開催される全日本女子
学童軟式野球大会へ挑みま
す。島を離れ全国の舞台で
プレーする経験は、きこし
生の宝物になることでしょ
う。そのひたむきな姿は、
私たちにも元気を与えてく
れます。久米島町民みんな
で熱いプレーに温かい声援
を送りたいものです。これ
からの活躍にも期待が膨ら
みます。

8月吉日

喜久里 強

議会広報調査特別委員会

富永 赤嶺 宇江原 保久村
登清 徳肇 総秀